

平成 30 年度 学校評価 目標設定 麻生養護学校

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	・「豊かに生きる力」を育み、自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点を持った、系統性、連続性のある教育課程を再構築する。	① 新学習指導要領の改訂に向けて「麻生の教育課程」の編成と日課表の見直しを図る。	① 本格実施に向けた「麻生の教育課程」と新学習指導要領との整合性を検証しながら、連続性のある指導を実践し、日課表作成に反映する。 ② 校内研究5期の1年目として、「主体的・対話的で深い学び」に配慮した具体的な授業実践を全員が行う。	① 「麻生の教育課程」の検証と実践ができたか。それらを年間指導計画と日課表見直しに反映させたか。 ② 「主体的・対話的で深い学び」に関する研修の機会を設定し、全教員が授業実践をしたか。					
2 児童・生徒指導・支援	・個々のニーズに応じた合理的配慮の視点を持った指導・支援を推進する。	① 個別教育計画の作成・評価に「合理的配慮」の視点を明確にし、有効な活用事例等を共有する。	① 個別教育計画作成マニュアルと事例集を活用した研修を実施する。マニュアルの「合理的配慮」のポイントを明確に明示し、個々に応じた合理的配慮を実現する。	① 研修参加者の理解度アンケートB評価以上90%。 ② ポイントを明示し授業実践に活かされたか。					
3 進路指導・支援	・一人ひとりのライフステージに応じた進路指導・支援の充実を図る。	① 「麻生のキャリア教育」をもとに、小中高の連続性のある学習内容を明確にする。 ② 保護者のニーズに合わせた「進路ハンドブック」を作成し、活用と情報発信を進める。	① 「麻生の教育」「麻生のキャリア教育」について共通理解を深めるよう説明や活用を推進し、年間指導計画を作成・実践する。 ② 「進路ハンドブック」の改訂を行い、保護者向け進路説明会、学習会で活用する。 ③ 教員の進路学習会を実施する。	① 「麻生の教育」「麻生のキャリア教育」を全校で共有化し、適切な年間計画作成と実践ができたか。 ② 「進路ハンドブック」を改訂したか。 保護者向け進路説明会等でそれを活用した情報発信をしたか。保護者アンケートB以上80%。 ③ 教員の学習会を実施したか。教員アンケートB以上90%。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「インクルージョンを目指す学校」として、インクルーシブ教育推進のために地域のセンター的機能の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① インクルーシブ教育に係る研修・相談について、校内研究等で蓄積した教育資源を活用し、センター的機能の充実に努める。 ② NPOの事業について、連携協力を図り、地域の交流拠点作りに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本校の教育資源として、第4期の研究のまとめを巡回相談に活用する。アンケートに資料提供の有効性についての項目を加える。 ② NPOのプログラムや競技と教育課程との整合性を確認し、可能な範囲で授業に取り入れる。 学校からNPOへ、参加しやすいアイデアの提供を行うなど、企画の共有化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① アンケート評価B以上90%。 ② 授業に取り入れることができたか。 NPOへのアイデア提供等によりNPOのプログラム改善について支援ができたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全で児童生徒にわかりやすい教育環境整備に取り組む。 防災教育の実施、災害時の危機管理について整備し教職員全員で動ける体制を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常の情報伝達・連絡体制について見直す。 ② 教員の防災に関する意識を高め、緊急時の研修・訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 保健室やケアルーム、職員室等、児童生徒の緊急時の連絡体制を確立し、全職員で共有する。 ② 災害時の機材の使用方法をマニュアル化するとともに、使用訓練を実施する。 ③ 児童生徒の安全確保と保護者への引き渡し、福祉避難所開設初動のシミュレーション(案)に係り確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 緊急時の連絡体制を見直し、具体的な方策を共有できたか。 ② 災害時シミュレーション訓練を実施し、機材の使い方について研修ができたか。 ③ 災害時初動のマニュアルを見直したか。 					